

今、熊本かがやきの森支援学校では・・・(佐賀県からの視察について その2)

5月19日に佐賀県教育委員会から医療的ケア(ほほえみスクールライフ支援事業)の実施状況について、2人の方が視察に来られました。コロナウイルス感染症が流行していた頃は受け入れが難しかったと思いますが、第5類に移行されたこともあって、感染対策を十分に講じた上で、しかも、2人と少人数であったことから、受け入れ可と判断いたしました。

到着後、熊本県が行っている「ほほえみスクールライフ支援事業」について特別支援教育課の担当指導主事から説明があり、その後、本校の概要とほほえみスクールライフ支援事業の実施状況などの説明を行いました。

事前説明が終わってから、実際の授業場面での看護師の動きやそれを支える施設設備の状況などの参観を行っていただきました。2人の視察者の方は、「安心・安全を最優先に考えてある学校」の施設設備に感銘を受けられるとともに看護師の動きや、教員との連携などについてなどなど、大変参考になったと話されていました。

校長として、熊本県が行っている「ほほえみスクールライフ支援事業」と、この熊本かがやきの森支援学校の取り組みを広く知ってもらい、参考にしてもらえることはとても幸せなことだと感じています。

これからも要望があれば、視察者を積極的に受け入れていきたいと考えています。

令和5年5月23日

熊本かがやきの森支援学校長

富永 佐世子

